

北九州市道路公社

北九州市道路公社

I 法人の概要（平成 30 年 4 月 1 日現在）

1 所在地

北九州市戸畑区川代一丁目 1 番 1 号

2 設立年月日

平成 17 年 11 月 1 日

3 代表者

理事長 吉永 高敏

4 基本金

742,400 千円

5 北九州市の出資金

742,400 千円（出資の割合 100.0%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	3 人	0 人	1 人	2 人
常 勤	1 人	0 人	1 人	0 人
非常勤	2 人	0 人	0 人	2 人
職 員	8 人	5 人	1 人	2 人

7 市からのミッション

本市の区域において、一般有料道路の改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与する。

これを遂行するために、交通の安全性を確保し、利用者の拡大に取り組みながら、平成 30 年末の無料化を目標として、計画通りに借入金の償還を進める。

II 平成 29 年度事業概要

1 利用実績

平成 18 年 4 月、市から若戸大橋を引き継ぎ、平成 24 年 9 月に供用開始した若戸トンネルとともに管理運営を行っている。

平成 29 年度の若戸大橋と若戸トンネルの年間通行台数は 16,446,912 台、料金収入は 13 億 4,579 万円だった。料金収入の内訳（構成比）は、現金収入が 47.4%、回数券販売収入が 45.2%、ETC 収入が 7.4%であった。

(1) 交通量

	H29 実績	H29 予算	H28 実績	対予算比%	対前年比%
年間 (千台)	16,447	16,256	16,307	101.2	100.9
日平均 (台)	45,060	44,538	44,677		

(2) 料金収入

	H29 実績	H29 予算	H28 実績	対予算比	対前年比%
年間 (千円)	1,345,789	1,329,000	1,336,353	101.3	100.7
日平均 (千円)	3,687	3,641	3,661		

2 事業実績

若戸大橋の将来にわたる健全性を確保するため、長期保全計画に基づき、維持管理工事を実施した。

また、道路や施設等の老朽化に対する調査・補修設計を実施し、さらに、道路保全、交通管理、管制業務の充実を図った。

平成 29 年度 主な工事等

業 務 名	費用 (千円)	概 要
若戸大橋補剛桁鋼床版連続化工事 (債務負担：3年目)	271,333	鋼床版ジョイント部改修、床トラス補強
若戸大橋無料化に伴う道路詳細設計 業務委託	12,096	若戸大橋詳細設計、関係機関協議資料作成
平成 29 年度若戸大橋の長寿命化に 関する技術検討委員会運営業務委託	9,444	耐震補強方針検討、技術検討委員会資料作成 及び運営

Ⅲ 平成 29 年度決算

1 貸借対照表

平成 30 年 3 月 31 日現在 (単位 : 円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
流 動 資 産	2, 121, 157, 792	流 動 負 債	165, 416, 678
預金	1, 729, 072, 382	未払金	165, 233, 066
未収金	392, 085, 410	預り金	183, 612
固 定 資 産	11, 250, 643, 789	固 定 負 債	4, 878, 983, 182
事業資産	10, 890, 881, 686	政府借入金	958, 883, 182
道路	10, 890, 881, 686	長期借入金	3, 920, 100, 000
有形固定資産	359, 400, 063	特別法上の引当金	7, 585, 001, 721
建物	312, 954, 188	事業損失補てん引当金	1, 876, 035, 972
機械及び装置	194, 446, 350	償還準備金	5, 708, 965, 749
車両及び運搬具	6, 815, 480		
工具・器具及び備品	43, 526, 911	(負債合計)	12, 629, 401, 581
有形固定資産減価償却累計額	▲198, 342, 866		
無形固定資産	362, 040		
電話加入権	362, 040		
ソフトウェア	0		
		基 本 金	742, 400, 000
		北九州市出資金	742, 400, 000
		(資本合計)	742, 400, 000
資 産 合 計	13, 371, 801, 581	負 債 ・ 資 本 合 計	13, 371, 801, 581

2 損益計算書

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日 (単位：円)

費 用 の 部		収 益 の 部	
勘 定 科 目	金 額	勘 定 科 目	金 額
管 理 業 務 費	749,334,516	業 務 収 入	1,346,573,159
管理業務費	749,334,516	料金収入	1,345,788,944
一 般 管 理 費	87,354,876	原因者負担金収入	0
一般管理費	87,354,876	道路占用料収入	507,293
特別法上の引当損等	1,031,143,981	業務負担金収入	268,976
事業損失補てん引当損	149,533,000	業務雑収入	7,946
償還準備金繰入額	881,610,981	業 務 外 収 入	550,226,836
その他の引当損	21,196,216	利息収入	17,492
固定資産減価償却費	21,196,216	雑収入	209,344
業 務 外 費 用	7,770,406	補助金受入	550,000,000
支払利息	7,770,406		
合 計	1,896,799,995	合 計	1,896,799,995

IV 平成 30 年度事業計画

《平成 30 年度の事業計画概要》

若戸大橋及び若戸トンネルの安全で安心な通行の確保に取り組んでいくことを第一に、費用対効果を十分精査のうえ、長期保全計画に基づき、維持補修対策を講じる。

1 営業計画

(若戸大橋及び若戸トンネル)

若戸大橋 2.1 km の年間通行台数は 6,912,764 台、料金収入は 5 億 4,800 万円と見込み、若戸トンネル 2.1 km の年間通行台数を 4,025,024 台、料金収入を 3 億 1,900 万円と見込んでいる。合計通行台数は 10,937,788 台、合計料金収入は 8 億 6,700 万円となる。

2 事業実施概要

若戸大橋の将来にわたる健全性を確保するため、長期保全計画に基づき、維持管理工事を実施する。

また、道路や施設等の老朽化に対する補修を実施する。

平成 30 年度（予定） 主な工事等

業 務 名	見込費用（千円）
若戸大橋伸縮装置取替他工事	91,000

V 平成 30 年度予算

1 予定損益計算書

自 平成 30 年 4 月 1 日

至 平成 31 年 3 月 31 日 (単位：千円)

費用の部		収益の部	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
管理業務費	536,761	業務収入	867,970
管理業務費	536,761	料金収入	867,000
一般管理費	91,281	原因者負担金	200
一般管理費	91,281	道路占用料収入	472
特別法上の引当損等	539,826	業務負担金収入	253
事業損失補てん引当損	97,000	業務雑収入	45
償還準備金繰入額	442,826	業務外収入	325,234
その他の引当損	19,949	雑収入	234
固定資産減価償却費	19,949	補助金収入	325,000
業務外費用	5,387		
支払利息	5,387		
合 計	1,193,204		1,193,204

VI 役員名簿

平成30年7月1日現在

役職名	氏名	備考
理事長	吉永高敏	
理事	横矢順二	北九州市建設局長（兼任）
監事	田中雄章	北九州市財政局長（兼任）

